



開 市のおそ

さくらだに
桜谷のみかんの木

生涯学習課 文化財係 ☎ 0986-76-8873

冬

の代表的な果物の一つにみかんがあります。今回は大隅町菅牟田校区の神掛の桜谷に伝わる、不思議なみかんの木の話です。

現在の桜谷は、田んぼや道路がありますが、昔は老木が生い茂り、昼間でも暗い深山で、人通りもできないような場所だったそうです。

昔、桜谷の近くに善助という若者が住んでいました。善助は親孝行で、とても正直な男でした。

ある日、善助が谷川の岩につかまりながら谷を上ると、ちよつとした窪地があり、きれいな清水が湧いていました。そこには、みかんの木があり、色付いたみかんが枝もたわわに実っていました。

善助は驚き喜んで、2つ3つともぎ取って家に持ち帰ります。そして家族みんなで食べてみると、それは香り高いおいしいみかんでした。

この話が村中に伝わると、村の若者たちは、我も我もと現地に押しかけました。しかし、教えられたところを探しても、不思議と誰も見つけることができませんでした。ところが、善助が一人で行けば、いつものようにみかんの木があり、持ち帰ってきました。村人

たちは、善助が親孝行者で正直者であるから、神様が授けたものだと噂しました。

そんなある日、善助は考えます。みかんちぎりに度々行くのは面倒なので、一度にこつそりちぎって持ち帰ろうと、大きな籠を背負っていつもの場所へ向かいます。

ところが、どうしたことが、みかんの木は、影も形も見当たりません。「そんなはずは…」と、辺りを一生懸命探しましたが、とうとう見つけることはできませんでした。

善助はがっかりして、そこに突っ立ったまま考え込んでしまいました。静かな山奥で聞こえるのは谷川の水音に混じって、ホーホーと昼のフクロウの声だけであつたそうです。

おしまい。

これは、つい欲張ったゆえに、すべてをふいにしてしまった男の話で昭和58年10月8日に「神さまとみかんの木」として、テレビアニメ「まんが日本昔ばなし」で全国放送されました。



【アクセス】
サコン太郎広場から約1キロ。徒歩15分。非常に道が狭いです。



神掛の桜谷